

一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 大塚 勝二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 大津町の防災対策について	現在、大津町ハザードマップの最新版への未更新やハザードマップの非危険箇所での水害や土砂崩れも発生している。 過去10年間で、梅雨期の降水量が平年を上回る年が多く、特に2012年は記録的な豪雨で大津町も多大なる被害があった。 気象庁の最新の季節予報によると、2025年の梅雨期は全国的に降水量が平年並みか多くなる見込みである。特に九州地方では、梅雨前線の活動が活発となり、大雨となる可能性がある。との報告があり、梅雨に向けて河川等や土砂災害に向けての早急の対策が必要不可欠である。高齢者・要支援者への避難支援体制の対応、災害時の情報伝達手段の偏りなど、町の防災体制の今後の対策について町長に問う。	町 長
2 大津町の防犯対策について	近年、特殊詐欺や空き家を巡るトラブル、通学路の安全確保など、町民の安全・安心に関わる課題が複数見受けられます。熊本県警察の統計によると、令和4年（2022年）の大津町における刑法犯の認知件数は113件で、前年（令和3年）の97件から16件増加している。また、不審火による火災の発生も散見される。防災・防犯に向けて町民が安心・安全に生活できるような対策について、現状と今後の取組について町長に問う。	町 長
3 肥後大津駅周辺のまちづくりについて	大津町の肥後大津駅周辺では、台湾積体電路製造（TSMC）の進出や熊本空港アクセス鉄道の整備計画を契機に、地域の活性化を目指したまちづくりが進められています。町は「肥後大津駅周辺まちづくり基本構想」を策定し、駅周辺の回遊性向上や公共交通の利便性強化、商業・居住機能の整備なども進められています。しかし、町民には今後の駅周辺のまちづくりビジョンが明確になっていないように感じています。駅周辺の今後のビジョンと取り組みについて町長に問う。	町 長